

石岡市議会 議長賞

「私達にできること」

石岡小学校 六年 徳山 美結（とくやま みゆ）

私は、「社会を明るくする運動」について考える前に「非行」とは何かについて調べました。非行とは、決まりをやぶったり、人に迷惑をかけたりする行動の事です。例えば、お店のものをお金をはらわずにとってしまふ「万引き」や、友達に手をだしてしまふ「けんか」、夜おそくまで外で遊ぶことなども非行の一つです。

テレビのニュースやインターネットでは、若い人たちが非行をしてしまった話がたくさんあります。最初は小さなことでも、だんだん大きな問題になることもあると知って、おどろきましました。非行をする人は「悪い人」だと思っていたけれど、よく調べてみると、その人たちの中には、「さびしい」「だれにも話を聞いてもらえない」「家に

いることもつらい」などの理由をかかえていることがあると分かりました。

私は、非行を防ぐために一番大切なことは「話を聞いてくれる人がいること」だと思いました。例えば、学校でいじめられていたり、家で怒られてばかりだったら、つらくてだれにも言えなくなるかもしれません。でも、そんなときに「どうしたの?」「何かあった?」と聞いてくれる友達や先生がいたら、その人は少し心が軽くなると思います。私にも、学校で元気がない友達がいて、心配になったことがあります。いつもは話しているのに、ある日ぜんぜんしゃべらなかつたので、「元気がないけど大丈夫?」と声をかけました。すると、「家でけんかしちゃって…」と話してくれました。少し顔がやわら

いだのを見て、「声をかけてよかったな」と思いました。

私達ができることは、あいさつをし合ったり、「一緒に遊ぼう」とさそったりする、小さなことの積み重ねだと思います。

社会を明るくする運動は、みんな力を合わせて、暮らしやすく、安全な社会をつくるための大切な取り組みです。ひこうをしてしまった人を、ただ「ダメだ」としかって終わらせるのではなく、「なぜそんなことをしたのか」「どうすればよくなるのか」といっしょに考えてあげることが大事です。

私の学校では、全校道徳という活動があります。その活動では一から六年生までがみんな出されたお話をしながら、班の考えをまとめる活動です。

この活動で、今まであまりしゃべらなかった下級生のみんなとも「コミュニケーション」が取れるようになりました。六年生として班のみんなの考えをまとめるのは大変ですが、一人一人の考えにもっと目を向けられるようになりたいと思います。この活動と同じように、友達が困っていたら手をさしのべる、自分の行動が人を傷つけないか考える心をもつことが明るい社会をつくる第一歩になると思いました。

これからも、人を大切にする気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。

